



つしま トピックス

おっ つしま
! な島です。 対馬



暑サニモマケズ

1811年の最後の朝鮮通信使から今年で200周年を記念して、対馬高校美術部の皆さんが厳原町大手橋の消防格納庫の外壁に通信使の壁画を作成しました。みんなで力を合わせた力作が日韓友好を見守っています。



写真提供:対馬市消防団厳原第21分団

がんばれ東北 消防団も応援します

宮城県石巻市で、対馬市消防団厳原第21分団(舎利倉政司分団長以下12名)が、がれきの撤去・ヘドロの除去等ボランティア活動を行いました。大震災から半年、まだまだ被災地は復興へ歩み始めたばかりです。



みんなで創る 未来への道筋

市内6か所で「(仮称)対馬市市民基本条例(案)における地域との意見交換会」が開催されました。いただいたご意見や検討委員会での協議内容を盛り込んで、みんなのルールとして定める予定です。



雨をぶっとばせ!!

8月20日、上対馬町比田勝で「おっどん祭り」が開催されました。あいにくのお天気でしたが、「ローカルヒーロー“ツシマックス”ショー」や「魚のつかみどり」などに子ども達の歓声が響きました。



“地域の宝”48年ぶりに復活

8月14日、厳原町椎根地区で馬子引きと代官の娘との純愛を描いた盆踊り「さんざ」が復活しました。椎根地区では、江戸時代末ごろから農家の長男が踊ってきましたが、後継者不足のため1963年を最後に途絶えていました。昨年10月に経験者8名で盆踊り復活準備委員会(桐谷榮会長)を結成し、記憶をたどりながら踊りや節回しを思い出し「地域の宝」を取り戻しました。



厳原港まつり 対馬アリラン祭2011

8月6・7日、「厳原港まつり対馬アリラン祭」が厳原港特設ステージをメイン会場に開催されました。台風9号により「舟グロ大会」が中止されるなど影響もありましたが、異国情緒あふれる「朝鮮通信使行列」や盛夏の夜空を彩る「花火」など今年もたくさんの人出で賑わいました。

今年最後の通信使（1811年）から200周年。行列の「宗対馬守」役に坂本智徳県議会議員、「正使」役は1643年第5回通信使正使の12代目子孫にあたる尹^{ユン}星^{ソジン}鎮^{ジン}さんが務められました。

祭りに併せ、昨年秋に供用開始した厳原3号・4号岸壁には海上保安庁巡視船「ちくぜん」（白武文明艦長）と海上自衛隊護衛艦「とね」（富松智洋艦長）が入港。

体験クルーズや船内一般公開には多くの市民が参加し、「対馬の海の安全を守る仕事」に触れました。



正使役 ^{ユン} ^{ソジン} 尹 星鎮さん



国書交換式



海上自衛隊 護衛艦「とね」



海上保安庁 巡視船「ちくぜん」